

## 第IV部門

## 泉州北部地域におけるため池の利用に関する研究

近畿大学理工学部社会環境工学科 学生員 ○三谷 拓央  
近畿大学理工学部社会環境工学科 正会員 岡田 昌彰

## 1. はじめに

近年の農地減少により，利水・治水を本来の目的として築造されたため池の役割に変化が現れ始めている。ICID 国際かんがい排水委員会による「世界かんがい施設遺産」，あるいは農林水産省による「ため池百選」の選定，市民活動の実施など，地域との関わりやその歴史性に着目したため池を地域資産として捉える活動が見られる。兵庫県稲美町の天満大池における，池に御輿を投げ入れる神事や，大阪府大阪狭山市の狭山池における清掃活動，狭山池まつり，歴史ウォーク，イルミネーションなど，各地においてため池の水面や堤体部を利用した住民活動が数多く実施されており，その事例は枚挙に遑がない（図1）。

本研究では，日本有数のため池集積地帯の1つである大阪府泉州北部地域（堺市，和泉市，岸和田市，泉大津市，及び高石市）に現存するため池116ヶ所（図2）を対象とし，ため池の空間構成，及びパブリックアクセスの現況とともに，名称など属性の副次的な利用の実態を明らかにすることを目的とする。



図1 地域資産としてのため池の活用事例  
左) 天満大池の祭事（兵庫県稲美町） 右) 狭山池まつり（大阪狭山市）

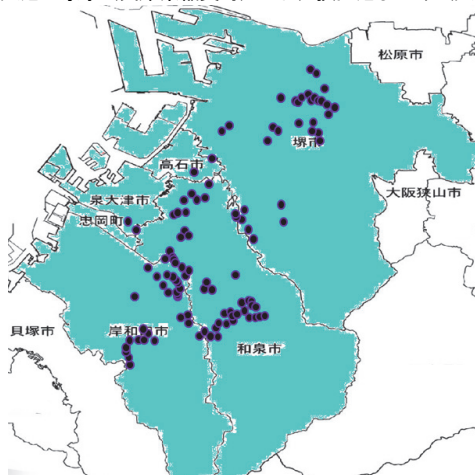


図2 調査対象としたため池116ヶ所

## 2. ため池周辺地域における設置施設

10ヶ所のため池において，水面あるいは周縁空間への施設の設置が見られた（表1）。噴水及びモニュメントはそれぞれ堺市の大池，同市前ヶ池の南広場など，ため池を市民公園として活用する事例に見られた（図3）。曝気による水質改善や茫漠とした水面景観へのアクセント付与を意図したものであると考えられる。

一方，周辺地域の都市化に伴い，ため池空間が住宅展示場やゴルフ場などの営利施設として利用されている事例が堺市信濃池，長池，鶴田池の3ヶ所で確認された（図4）。中百舌鳥住宅公園のウェブサイトには「（信濃）池の上にあるユニークな水上住宅展示場」との記述があり，ため池固有の水辺空間をアピール対象としていることがわかった。

一方，ため池における水辺への物理的アクセス設備として，直接水に触れることができる設備ならびに周回道路の存在が確認できた。安全面への配慮から，前者は4ヶ所に止まっていることがわかった（表2）。

表1 ため池周辺地域における設置施設

| ため池（所在地）  | 公園施設   | 営利施設  |
|-----------|--------|-------|
| 地獄池（和泉市）  | 噴水     |       |
| 堂ノ前池（和泉市） | 噴水     |       |
| 志保池（和泉市）  | 噴水     |       |
| 信濃池（堺市）   |        | 住宅展示場 |
| 前ヶ池（堺市）   | モニュメント |       |
| 長池（堺市）    |        | ゴルフ場  |
| 中ノ池（堺市）   | モニュメント |       |
| 鶴田池（堺市）   |        | ゴルフ場  |
| 大池（堺市）    | 噴水     |       |
| 新池（堺市）    | 噴水     |       |



図3 市民公園としてのため池の利用（堺市）  
左) 大池の噴水 右) 前ヶ池のモニュメント



図4 信濃池の「水上住宅展示場」(堺市)

一方、周回道路は全体の 91%に設けられており、周辺環境が住宅となっているため池においては一般道路が 54%, 田畑では農業用道路が 54%, 公園ではプロムナードが 81%と最多となっていることを確認した(図5)。

また、周回道路のあるため池のうち 24% にベンチ等の休憩スペースが存在し、水面を見渡せる「視覚的アクセス」の役割を担うと共に、市民のコミュニケーションの場となっていることがわかった(図6)。

表2 直接水に触れることのできるアクセス設備

| ため池     | 7ヶ所設備 | ため池       | 7ヶ所設備 |
|---------|-------|-----------|-------|
| 地獄池(和泉) | 階段護岸  | 久米田池(岸和田) | 木製階段  |
| 光明池(和泉) | 階段護岸  | ハサマ池(岸和田) | 階段護岸  |

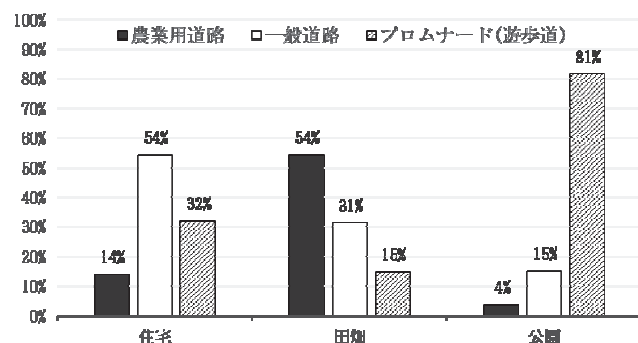


図5 各周辺環境における周回道路の特徴



図6 中ノ池の周回道路と休憩スペース(堺市)

### 3. ため池におけるイベントとコンテキストの波及

次に、各自治体や関連団体に対しヒアリング調査を実施し、12ヶ所のため池において過去2年間で23件のイベントが行われていることを確認した(表3)。た

め池の歴史学習や自然探勝を目的とした学習会、ウォーキングイベントや野鳥の観察会、地域住民による清掃活動などが行われていることがわかった。

また、5ヶ所のため池周辺地域において、介護施設やマンション等、ため池の名称を冠した施設が13ヶ所存在することが確認できた(表4)。これらの地域においては、ため池の視覚像がその故事や伝承等とともに地域風景を形成し、地域特有のコンテキストを形成しているものと考えられる。

表3 ため池におけるイベント件数

| イベント | 件数 | イベント   | 件数 |
|------|----|--------|----|
| 学習会  | 3  | ウォーキング | 1  |
| 観察会  | 8  | 祭事     | 4  |
| 清掃活動 | 7  |        |    |

表4 ため池の名称を冠した施設

| 名 称       | 施設数 | 名称の属性    | 施設名(例)    |
|-----------|-----|----------|-----------|
| 水質池(堺)    | 5   | 景観・伝承    | ベーレン水質池   |
| 大津池(堺)    | 3   | 伝承       | フローラ大津池   |
| 剣池(堺)     | 1   | 伝承       | つるぎ荘      |
| 久米田池(岸和田) | 2   | 景観・祭礼・伝承 | 岸和田久米田池物語 |
| 光明池(和泉)   | 2   | 景観・伝承    | 光明池駅      |

図7 ため池の名称を冠した施設の一例  
セジュール水質池(堺市)

### 4. 結論

本研究で確認された泉州北部地域におけるため池においては、利水・治水といった本来の機能に加え、住民との関わりや地域コンテキストの形成といった副次的な役割の存在が確認できた。都市化が進行した現在、ため池は自然を体感できる貴重な水辺空間を供するとともに、地域社会の核という重要な役割を担いうる貴重な地域資産であると考えられる。

#### 【参考文献】

- 1) 日本建築学会(2002)「親水工学試論」信山社サテック
- 2) 内田和子(2008)「ため池—その多面的機能と活用—」財団法人農林統計協会
- 3) ABC-Housing 公式 HP (2018年2月現在) : <http://www.abc-housing.co.jp/kinki/park/nakamozu.html>